



バリアブルデータ印刷 (FS350 以前)

© 2020 Electronics For Imaging, Inc. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2020年10月21日

目次

バリアブルデータ印刷の概要 (FS350 以前)	5
バリアブルデータ印刷による再利用可能データの指定方法	5
バリアブルデータ印刷ジョブの一般的要素	5
Fiery Server でのバリアブルデータ印刷	7
Fiery Server と互換性のある VDP 言語	8
バリアブルデータ印刷に対応した Fiery Server の機能	9
FreeForm を使用してバリアブル文書を印刷するには	11
マスター文書構造	11
バリアブルデータジョブを印刷する際のガイドライン	12
マスター文書を作成して FreeForm で使用するには	13
バリアブル文書を作成して FreeForm で使用するには	13
FreeForm マスターとバリアブル文書の組み合わせるには	14
Windows プリンタードライバでマスター文書をプレビューするには	15
最適化 FreeForm を使用してマスターファイルとバリアブルファイルをマップするには	15
FreeForm 2 を使用してバリアブル文書を印刷するには	17
その他のバリアブルデータ印刷ファイルの印刷	18
Command WorkStation を使用してバリアブルデータ印刷ファイルをインポートするには	18
「レコードの長さの定義」を使用して、PS および PDF ファイルをバリアブルデータ印刷ファイルとして印刷するには	18
リモートリソースを使用してバリアブルデータジョブを印刷するには	20
バリアブルデータジョブの面付け	21

バリアブルデータ印刷の概要 (FS350 以前)

バリアブルデータ印刷 (VDP) は、書類の出力すべてに共通に用いられるマスター要素と、出力ごとに異なるバリアブル要素を組み合わせて印刷します。

バリアブルデータ印刷は、印刷デバイスと印刷物のデータがあるデータベースをリンクするデジタル印刷テクノロジーを使用します。このカスタマイズされたコミュニケーションには、データベースのコンテンツの選択や書類内でのこのコンテンツの配置を指定するルールが含まれます。

これにより、パンフレットに顧客名を入れたり、データベースから取得したその他の個人情報を使用するなど、パーソナライズされた印刷物を作成できるようになります。この場合、すべてのパンフレットに共通の背景、イラスト、テキストブロックなどがマスター要素で、名前など顧客ごとに異なる情報がバリアブル要素です。

もっとも簡単なバリアブルデータ印刷は、単純な差し込み印刷です。しかし、イメージ、グラフ、テキストおよびその他の要素を組み込むことで、さらに特定の顧客に特化した印刷物を作成できます。

バリアブルデータ印刷による再利用可能データの指定方法

VDP 言語内で再利用可能データを指定する技術は、ページ単位または要素単位のいずれかです。

以下の VDP 技術が VDP 言語内でどのように再利用可能データを指定できるのかを説明します。

- ページ単位の技術 - 固定の再利用可能データ (マスターデータ) をページ単位のまとまりとして記述します。それぞれのページ要素は、マスターページと呼ばれます。ページ単位のマスターデータは、シンプルなレイアウトでの使用に向いています。FreeForm はページ単位の言語です。
- 要素単位の技術 - 固定の再利用可能なデータを、要素またはオブジェクトとして記述します。要素単位の技術により、1 ページ内でさまざまな異なるオブジェクトを固定要素またはバリアブル要素として個別に使用できます。

要素を単位としたバリアブルデータジョブは、グラフィックなどジョブ内の可変要素に対して、再利用可能なオブジェクトを使用します。これら頻繁に利用されるバリアブルデータは、Fiery Server 内部に保存され、グループとしてキャッシュされます。

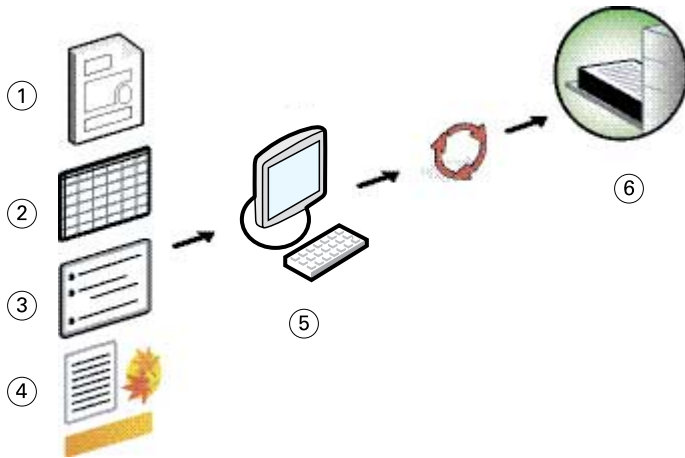
バリアブルデータ印刷ジョブの一般的要素

通常、バリアブルデータ印刷ジョブには、コンテンツ、データベース、ビジネスルール、レイアウト、VDP アプリケーションおよび印刷デバイスが含まれます。

次の表は主なコンポーネントを説明しています。

バリアブルデータ コンポーネント	説明
コンテンツ	書類のさまざまな場所に配置されたテキスト、イメージまたは写真を含む。Adobe Photoshop や Microsoft Word など、さまざまなアプリケーションを使用した固定コンテンツやバリアブルコンテンツの作成が可能。
データベース	印刷書類に含まれるすべての可変、バリアブル要素を含む。データはレコードと各レコードのフィールド（カテゴリ）に含まれる。
ビジネスルール	使用するバリアブルコンテンツおよび書類内でのコンテンツの配置場所を指定。
レイアウト	DTP ソフトやワープロソフトで行う書類のデザインやページレイアウトを含む。（レイアウトには、バリアブルテキストやイメージを配置する場所が指定されている必要があります。）
VDP アプリケーション	マスター要素とバリアブル情報を組み合わせて印刷出力用データを作成。（FreeForm では専用の VDP アプリケーションを必要としません。）
印刷デバイス	デジタルファイルをハードコピー書類に変換。バリアブルデータ印刷をサポートしているプリンター、複写機、デジタル印刷機など。

次の図はバリアブルデータ印刷のコンポーネントを示しています。



- 1 レイアウト
- 2 データベース
- 3 ビジネスルール
- 4 コンテンツ
- 5 バリアブルデータアプリケーション
- 6 印刷デバイス

Fiery Server でのバリアブルデータ印刷

Fiery Server は、VDP 言語、サードパーティ製の VDP アプリケーション、および Fiery Server の主な機能を組み合わせて、多数の既存ワークフローに統合します。

Fiery Server と互換性のある VDP 言語

Fiery Server を使用する際は、互換性のある VDP 言語が必要です。

以下の VDP 言語は Fiery Server に対応しています。

- **FreeForm** および **FreeForm 2** - 再利用可能データを一度で処理するため、ジョブの印刷を高速に行うことができます。

FreeForm では、どのデスクトップアプリケーションまたはコンピュータプラットフォームからでもマスターデータとバリアブルデータを作成できます。アプリケーションでは、マスターデータには 1 から 100 までの数値が割り当てられます。**FreeForm** オプションは、ドライバおよびジョブ管理ツールにあります。

FreeForm 2 では、複数のマスターページを持つジョブのページコンディションやルールを設定できます。また、データストリーム内で各レコードに境界を決定することもでき、レコードごとに開始位置と終了位置が任意に指定できます。**FreeForm** とは異なり、**FreeForm 2** は **FreeForm 2** をサポートする VDP アプリケーションを必要とします。

- **PPML** - 業界標準の形式です。プリンターにテキストやグラフィックをオブジェクトとして保存し、必要に応じて再利用してバリアブルデータ印刷を高速で実行できるようになります。

Fiery Server では、圧縮および非圧縮の **PPML** ジョブをサポートしています。**PPML** 形式の書類を印刷するには、**PPML** 形式と互換性のある他社ソフトウェアアプリケーションを使用します。**PPML** ジョブを **Fiery Server** に送信または **PPML** ファイルをダウンロードするには、**Command WorkStation** または **Hot Folders** を使用してください。

Fiery Server は、**PPML** アプリケーションで設定した **IMPOSITION** または **PRINT_LAYOUT** コマンドで作成した **PPML** ファイルをサポートしていません。これらのオプションは、**Command WorkStation** の **Impose** を使用して設定してください。

- **Creo Variable Print Specification (VPS)** - **Creo** 社による **PostScript** 言語の拡張版です。**Creo VPS** ファイルは、ヘッダー部分とブックレット部分で構成されています。ヘッダー部分には、ジョブ全体のグローバルオブジェクトが含まれます。ブックレット部分には、個人向け書類のコピーが含まれます。ページ要素は、**Creo VPS** フォーマットで定義された再利用可能なオブジェクトです。すべてのページ要素を **Creo VPS** ファイルに含める必要があります。

印刷するには、**Creo VPS** データストリームを出すアプリケーションが必要です。**Command WorkStation** または **Hot Folders** を使用して **Creo VPS** ファイルをダウンロードすることもできます。

- **Xerox Variable Data Intelligent PostScript Printware (VIPP)** は、**Xerox** 社によって開発された独自のページ記述言語です。**Xerox VIPP** 形式の書類を印刷するには、**Xerox VIPP** 形式と互換性のある他社ソフトウェアアプリケーションを使用します。**Xerox VIPP** ジョブを送信またはダウンロードするには、**Command WorkStation** または **Hot Folders** を使用してください。

- **Portable Document Format/Variable Transitional (PDF/VT)** - PDF テクノロジーベースの Adobe のフォーマットです。PDF/VT は、バリアブルデータおよびトランザクション印刷に対して信頼できるドキュメント交換を可能にします。トランザクション文書には、マーケティング情報と請求情報を統合した送り状、ステートメント、文書などがあります。

VDP アプリケーションにより、PDF/VT ファイルが生成されます。このファイルには、ページ、レコード、およびページ/レコードメタデータが含まれます。これらの PDF/VT ファイルを **Fiery Server** にインポートします。PDF/VT ファイルは **PostScript** または **APPE** を経由して処理され、ページ、レコード、およびページ/レコードを示すことができます。PDF/VT には、オブジェクトベースの技術が使用されています。

- 「レコードの長さの定義」が選択されている場合の **PS** ファイルおよび **PDF** ファイル - 「ジョブのプロパティ」で「レコードの長さの定義」が選択されている場合には、**PS** および **PDF** ファイルをバリアブルデータジョブと同じように処理できます。このオプションを選択すると、バリアブルデータ処理に使用する一定のサブセット長を定義できます。

「レコードの長さの定義」オプションは、VDP および **Quick Doc Merge** ジョブで使用できます。

バリアブルデータ印刷に対応した Fiery Server の機能

Fiery Server でバリアブルデータをサポートする機能 (**Fiery Impose**、用紙種類の混合など) を使用すると、カスタムレイアウトを作成して、バリアブルデータジョブにさまざまな用紙や仕上げオプションを適用できます。

また、バリアブルデータ印刷リソースを使用して、バリアブルデータジョブの再利用可能オブジェクトを管理できます。

Fiery Impose を使用したバリアブルデータジョブの面付け

Fiery Server は多様な VDP 言語に対して、**Fiery Impose** を使用したバリアブルデータ印刷ジョブの面付けに対応しています。

- **FreeForm** および **FreeForm 2** のバリアブルデータジョブ
- **PPML**
- **Creo VPS**
- **Xerox VIPP**
- **PDF/VT**
- 「レコードの長さの定義」が選択されている場合の **PS** ファイルおよび **PDF** ファイル

Hot Folders を使用した VDP の面付け

バリアブルデータジョブは、ジョブを **Fiery Server** に送信する際に **Hot Folders** を使用して面付けすることができます。**Hot Folders** アプリケーションで、特定の **Hot Folder** に適したバリアブルデータジョブの面付けテンプレートを設定する必要があります。

用紙種類の混合をバリアブルデータ印刷に適用

用紙種類の混合設定は、すべてのバリアブルデータ印刷ジョブに適用することができます。用紙種類の混合設定を使用すると、**Fiery Server** は各バリアブルデータレコードを個別のジョブとして認識します。バリアブルデータ印刷ジョブが面付けされていない場合、**Fiery** サーバーでは用紙種類の混合設定がすべてのバリアブルデータジョブに適用されます。

バリアブルデータ印刷リソース

再利用可能オブジェクトは、画像ファイルでバリアブルデータを含むバリアブルデータジョブ用に **Fiery Server** にダウンロードされている必要があります。これらの再利用可能オブジェクトは **Fiery Server** に保存され、グループとしてキャッシュされます。

Command WorkStation から使用できるバリアブルデータ印刷リソース機能では、再利用可能オブジェクトを記録するため、オブジェクトを削除することも今後のバリアブルデータジョブ用に保持することもできます。バリアブルデータ印刷リソースでは、次のバリアブルデータ印刷言語に対応しています。

- FreeForm
- PPML
- Creo VPS
- Xerox VIPP
- PDF/VT

FreeForm を使用してバリエブル文書を印刷するには

FreeForm を使用すると、プリントオプションをマスタージョブに指定し、バリエブルデータジョブを Fiery Server へ送信するときに適用できます。

FreeForm バリエブルデータ印刷では、ジョブのマスターデータをバリエブルデータとは別に Fiery Server に送信し、ラスタライズします。このラスタライズされたマスターデータを Fiery Server に FreeForm マスターとして保存しておき、必要に応じてバリエブルデータと組み合わせて印刷します。FreeForm マスタージョブは Fiery Server で再処理および保存されるため、バリエブルデータのみが処理される必要があり、ジョブの処理時間が削減されます。

マスターデータは、固定データとして、異なるバリエブルデータと組み合わせて、バリエブルデータ印刷に使用できます。たとえば、レターヘッドのテンプレートを FreeForm マスターとして保存し、異なる内容（バリエブルデータ）のレター用として使用できます。

また、FreeForm を使用すると、さまざまなアプリケーションやコンピュータープラットフォームを使用してマスターおよびバリエブル文書を作成できます。たとえば、マスター文書を作成する場合には、ページレイアウトアプリケーションやグラフィックアプリケーションを使用します。バリエブル文書を作成する場合には、差し込み印刷機能付きワードプロセッサや、スクリプト機能付きページレイアウトアプリケーション、データベースアプリケーションを使用する、といった使い分けが可能です。

マスター作成およびマスター使用を使用して FreeForm 機能を管理します。ジョブを送信するときに、プリンタードライバーでこれらのオプションを設定するか、Command WorkStation からのジョブオーバーライドを使って設定するようにオペレーターに指示します。処理されたマスター文書は、Command WorkStation の「デバイスセンター」の「バリエブルデータ印刷リソース」に表示されます。また、Command WorkStation では、Fiery Server に保存されている FreeForm マスターの監視および管理もできます。

FreeForm 機能を使用してバリエブルデータジョブを印刷する場合は、まずマスター文書、そしてバリエブル文書を作成した後、FreeForm で 2 つのファイルを組み合わせます。

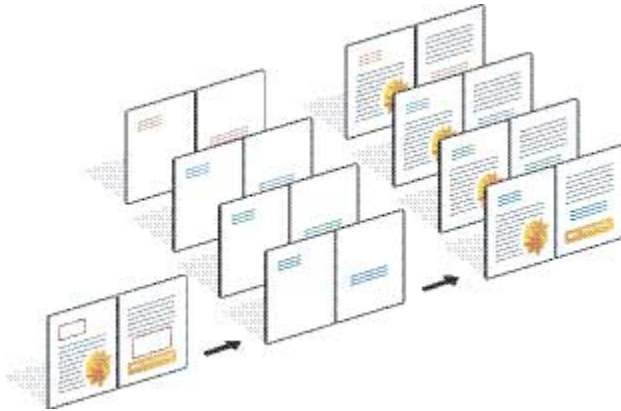
サポートされているバリエブルデータ言語と機能についての詳細は、プリントサーバーの取扱説明書『印刷ガイド』を参照してください。

マスター文書構造

複数ページのマスター文書も作成できます。バリエブル文書の印刷時に複数ページで構成される FreeForm マスターを設定する場合、マスターページはバリエブルページと周期的に組み合わせられます。

たとえば、マスターページが 2 ページで構成されている場合、バリエブル文書の 1 ページ目と 2 ページ目は、マスター文書の 1 ページ目と 2 ページ目とに組み合わせられます。バリエブル文書の 3 ページ目と 4 ページ目は、マスター文書の 1 ページ目と 2 ページ目とに組み合わせられます。この組み合わせがバリエブル文書の終わりまで続きます。

図 1:2 ページのマスターを使用した複合書類



バリアブルデータジョブを印刷する際のガイドライン

ここでは、バリアブルデータジョブを適切に印刷するためのガイドラインを提供します。

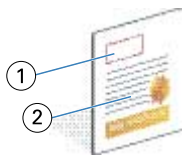
- FreeForm マスター番号の割り当てに関しては、システム管理者またはオペレーターにお問い合わせください。
- 1つのジョブにマスター使用オプションとマスター作成オプションを同時に適用することはできません。
- 1ページのFreeForm マスターは、片面印刷にしか使用できません。1ページのFreeForm マスターを両面印刷に適用することはできません。
- 直接接続にはバリアブルデータ印刷ジョブを送信しないでください。直接接続に送信されたバリアブルデータ印刷ジョブは処理されません。
- 「ジョブ注釈メモ」や「指示」欄を使用して、オペレーターにジョブ情報と印刷方法を伝えてください。
- ジョブには、内容の分かりやすい固有の名前を付けてください。ただし、次の制限が適用されます。
 - マスター作成およびマスター使用オプションでは、\|*? “”:<などの記号、および特殊制御文字を使用することはできません。
 - FreeForm 2 では、「form」および「formU」で始まるマスターファイル名を扱えません。
 - FreeForm 2 では、マスターファイル名は 64 文字未満に制限されています。
- FreeForm の使用時は次の制限に注意してください。
 - マスター文書とバリアブル文書では、用紙サイズと印刷の向きが同じである必要があります。用紙種類の混合を適用している場合でも、各ジョブに適用できるのは1つの用紙サイズのみです。
 - マスター文書とバリアブル文書で仕上げオプションや用紙トレイ設定オプションが異なっていた場合には、バリアブル文書で指定されたオプション設定が優先されます。
 - 「マスター作成」および「マスター使用」設定を使用できるのは、FreeForm に限られています。
- 面付けジョブ (.dbp ファイル) を FreeForm のマスタージョブとして設定することはできません。
- FreeForm および FreeForm 2 には、バリアブルデータジョブのみを面付けする必要があります。
- FreeForm 2 ではアプリケーションでレコード長設定が必要となります。これは、面付けや仕上げで使用されます。

マスター文書を作成して FreeForm で使用するには

FreeForm を使用する前に、マスター文書およびバリエブル文書を作成します。これらは各要素のスペースを持つ複合書類のレイアウトとなります。

- 1 任意のアプリケーションでマスターを配置します。
- 2 レイアウト作成にあたっては、ページ（複数可）上にマスターデータ部分（変更されないテキストやグラフィック）を配置し、バリエブルデータ用のスペースを確保します。

図 2: マスター文書



- 1 バリエブルデータ用スペース
- 2 マスターデータ

- 3 ファイルを保存します。

バリエブル文書を作成して FreeForm で使用するには

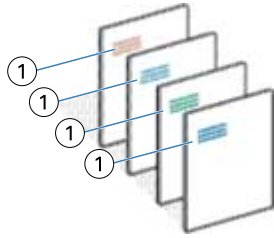
バリエブル文書を作成するには、差し込み印刷機能付き DTP アプリケーション、データベースアプリケーション、またはスクリプト機能付きページレイアウトを使用する必要があります。

アプリケーションによりデータベースまたはリストから情報が取得され、マスター情報を受け入れる既存の文書に差し込まれます。差し込み方法はアプリケーションによって異なります。

- 1 サポートされているアプリケーションで、バリエブル文書を作成して、マスター文書のレイアウトに合うように体裁を整えます。
- 2 文書の適切な位置にバリエブル情報を追加します。

メモ: バリエブル文書とマスター文書は同じページ数である必要があります。たとえば、マスター文書が4ページであれば、バリエブル文書も4ページで作成してください。最適化 FreeForm を使用して空白ページを追加することもできます。

図 3: バリアブル文書



1 バリアブルデータ

3 ファイルを保存します。

FreeForm マスターとバリアブル文書の組み合わせるには

Fiery Server は、バリアブル文書のラスターデータと処理済みの FreeForm マスターデータとを組み合わせ、新しいラスターファイルを作成します。

バリアブル文書を Fiery Server に印刷するときは、マスター使用オプションで、使用する FreeForm マスターを指定します。FreeForm マスター番号は、マスター文書の送信時に設定するか、オペレーターから割り当てられたものを使用します。

1 作成したマスター文書を Fiery Server に印刷します。(マスター作成オプションで FreeForm マスター番号を設定します。)

メモ: また、マスター作成オプションをなしに設定し、Command WorkStation からオーバーライドを使用してこのジョブから FreeForm マスターを作成することもできます。

2 バリアブルデータとマージする前に FreeForm マスターを確認するには、ファイルを Fiery Server に送信した後にマスターを印刷機能を有効にします。

3 適切な FreeForm マスター番号をマスター使用オプションで指定し、作成したバリアブル文書を Fiery Server に印刷します。

4 以下のいずれかを行ってジョブをプレビューすることもできます。

- マスターページを確認するには、プリンタードライバーからマスタープレビューを選択します。低解像度のマスターページのイメージが生成されます。
- 印刷前にジョブを「プレビュー」から確認するには、ジョブを「処理後待機」します。

図 4: 複合書類



Windows プリンタードライバでマスター文書をプレビューするには

マスター文書を作成した後、Windows プリンタードライバでプレビューできます。FreeForm を使用して印刷する場合はマスター文書を選択できるため、便利です。

マスター作成およびマスター使用に FreeForm マスター番号と名前が表示されます。

- 1 アプリケーションからプリント（印刷）を選択します。
- 2 Fiery Server を選択し、プロパティをクリックします。
- 3 Fiery 印刷タブをクリックします。
- 4 「バリアブルデータ印刷」アイコンをクリックします。
- 5 アップデートをクリックして、Fiery Server から FreeForm マスターのリストを受信します。

メモ：FreeForm マスター名のリストを受信するには、「双方向通信」が有効になっている必要があります。

- 6 マスター使用からプレビュー表示するマスター文書を選択し、マスタープレビューボタンをクリックします。

最適化 FreeForm を使用してマスターファイルとバリアブルファイルをマップするには

最適化 FreeForm では、ユーザーが定義した一定の順序でマスターファイルとバリアブルファイルをマップできるため、マージされた出力を得るためにブランクページを追加する必要はありません。（FreeForm ではページの順序が常に一定です。）

マスターファイルの任意のページをバリアブル文書の任意のページにマップできます。マスターファイルには、最終的な文書よりも多くのページを含めることもできます。また、バリアブル文書のレコードの長さは、マスターページの合計数と一致させる必要はありません。

- 1 FreeForm ジョブを選択し、アクション > プロパティを選択します。
- 2 「ジョブのプロパティ」で VDP タブをクリックします。
- 3 マスター使用から、FreeForm マスターを選択します。

メモ：FreeForm マスターを選択するときは、ジョブに使用するマスターページの数把握している必要があります。

- 4 最適化 FreeForm を使用を選択し、マッピング定義をクリックします。
- 5 レコードごとのバリアブルページに、ジョブのレコードあたりのページ数を入力します。
- 6 マスターページをプレビューするには、マスタープレビューをクリックします。
- 7 レコードごとの仕上げ合計ページに、ジョブですべてのマスターおよびバリアブルをマージした後のレコードの長さを入力し、続けるをクリックします。
- 8 「バリアブルページ」列の各ページを「マスターページ」列のマスターページにマップします。

- 9 バリアブルページに割り当てられていないマスターページには、上下の矢印をクリックしてページ順序を配列します。

FreeForm 2 を使用してバリアブル文書を印刷するには

FreeForm 2 では、FreeForm の持つ機能が拡張されています。FreeForm 2 をサポートするサードパーティ製アプリケーションと FreeForm を使用することで、ユーザーは複数ページのマスターを作成でき、書類をより顧客に特化させ、カスタマイズできます。

別のアプリケーションで作成したマスターを使用し、FreeForm 2 をサポートするサードパーティ製アプリケーションを使用して、デザインとデータベース情報を組み合わせることもできます。

FreeForm 2 とサードパーティ製の VDP アプリケーションを併用することで、個々のマスターページに対するルールを指定できます。"IF"、"THEN"で各マスターページに記述されたルールにより、マスターファイル内のページを印刷したりスキップしたりできます。

FreeForm 2 では、関連するバリアブルデータジョブが RIP 処理されて印刷された後に、Fiery Server から指定した FreeForm マスターを消去するオプションも提供されています。ユーザーは、この機能を FreeForm マスターの消去をサポートするサードパーティ製アプリケーションで設定できます。

- 1 FreeForm 2 をサポートするサードパーティ製の VDP アプリケーションでバリアブル文書を開きます。
- 2 バリアブル文書の送信時に FreeForm 2 を選択します。
- 3 書類を印刷します。

その他のバリアブルデータ印刷ファイルの印刷

サードパーティ製の VDP アプリケーションを使用してジョブのマスターおよびバリアブルデータをデザインし、互換性のある形式を使用してアプリケーションから Fiery Server にジョブを印刷できます。

Fiery Server は、多数の VDP 言語と互換性があります。[Fiery Server と互換性のある VDP 言語](#) (8 ページ) を参照してください。

Command WorkStation を使用してバリアブルデータ印刷ファイルをインポートするには

バリアブルデータ印刷ファイルをインポートするには Command WorkStation を使用します。

- 1 メニューからファイル>ジョブのインポートをクリックします。
- 2 追加をクリックしてインポートするファイルを選択し、開くをクリックします。
- 3 インポート方法で、Fiery Server で現在発行されているサーバープリセットおよび仮想プリンターのリストから選択します。
- 4 デフォルトのアクションから、ファイルのインポート先にする印刷キューを選択します。

インポート方法で仮想プリンターを選択すると、仮想プリンターと関連付けられているアクションが使用されるため、デフォルトのアクションが淡色表示となります。

メモ：マスターデータの再処理機能を使用するには、バリアブルデータジョブを「印刷キュー」または「待機キュー」に送信する必要があります。直接接続に送信されたバリアブルデータ印刷ジョブは処理されません。

「レコードの長さの定義」を使用して、PS および PDF ファイルをバリアブルデータ印刷ファイルとして印刷するには

レコードの長さの定義が選択されると、サブセットの長さを定義し、レコードベースの仕上げ用のファイルを有効にすることができます。Command WorkStation の「ジョブセンター」で、レコード数およびレコードごとのページ数を表示できます。

メモ：レコードの長さの定義オプションは、VDP および Quick Doc Merge ジョブで使用できます。

- 1 Command WorkStation に任意の PS または PDF ファイルをインポートした後、ジョブを選択してアクション>プロパティをクリックします。
- 2 VDP タブをクリックし、レコードの長さの定義を選択します。

- 3 ページ/レコードから、固定されたマスターの長さ（ページ数）を指定して、すべての仕上げをジョブ全体ではなくレコードに適用します。

リモートリソースを使用してバリアブルデータジョブを印刷するには

ファイル検索パスでは、イメージやフォントなど、リモートのバリアブルデータリソースを保存する共有場所を指定できます。Fiery Server はすべての指定された場所にある必要なすべてのリソースにアクセスし、自動的にそれらのリソースを取得します。

パスが分かっている場合は、ジョブごとに外部リソースを検索することもできます。ジョブを印刷する前に、ファイル検索パスを設定します。ファイル検索パスには、次のバリアブルデータ印刷言語を使用できます。

- Creo VPS
- VIPP
- PPML

Fiery Server のリモートでリソースを検索するには、「Configure」のリモートネットワークコンピューターにファイル検索パスを入力してください。『設定のヘルプ』を参照してください。

メモ：Fiery Server で再利用可能オブジェクトを検索しても見つからなかった場合、ジョブは処理されません。ファイル検索パスは正確に入力してください。

- 1 VDP 言語をサポートするサードパーティ製アプリケーションを使用して、Creo VPS、VIPP、または PPML ジョブを Fiery Server に送信します。
- 2 Command WorkStation で Creo VPS、VIPP、または PPML ジョブを選択し、アクション > ジョブのプロパティを選択します。
- 3 VDP タブをクリックし、ファイル検索パスに場所を入力します。
- 4 Creo VPS、VIPP、または PPML ジョブを処理します。

バリアブルデータジョブの面付け

Fiery Server でサポートされている場合は、Fiery Impose を使用して、FreeForm、FreeForm 2、およびその他のサポートされているバリアブルデータジョブを面付けできます。

バリアブルデータジョブの面付けを行うとき、単一レコードを面付けするか、複数のレコードを面付けするかを選択できます。

Hot Folders を使用してバリアブルデータジョブを面付けすることもできます。